

公益財団法人 NSKメカトロニクス技術高度化財団
—2017年度研究開発、技術教育、研究会への助成—募集のお知らせ—

29-67
68

各自応募
申請書はダウンロード

なお当分の間技術交流助成事業を中断いたします。

<p>メカトロニクス技術の高度化に関する2017年度事業による助成の募集を行います。下記を参照のうえご応募下さい。</p> <p>本財団は1988年に設立され、日本精工株式会社およびその関連会社からの寄附金等により活動しております。</p> <p>1. 募集対象</p> <p>(1) 研究開発への助成 (1件200万円を限度、年間15件前後)</p> <p>独創的な研究であって、質量ある対象を支え、駆動し、制御するというメカトロニクス技術 (Motion & Control) の発展に貢献する、基礎的または応用的研究を対象とし、概ね2ヵ年以内に終了する下記研究分野の研究費</p> <ul style="list-style-type: none">① トライボロジー② センサー③ アクチュエーター④ 軸受、直線運動機構⑤ 運動及び動力伝達機構とその要素⑥ 機械の精密運動制御⑦ ロボット機構と制御⑧ メカトロニクス技術の産業応用 <p>(2) 技術教育への助成 (A助成:1件250万円、B助成:1件50万円を限度、それぞれ年間4件前後)</p> <p>2012年に開始したメカトロニクス技術の分野に従事する人材の増加、育成およびレベルの向上を目的とした高等専門学校の学生に対するメカトロニクス技術教育の経費への助成。質量ある対象を支え、駆動し、制御するメカトロニクス技術 (Motion & Control) の本質を経験させることのできる、座学と実験・実習が連携、融合した教育が対象。今年度より、従来の複数の教員や学科・専攻のチームによる教育 (A助成) に加え、教員個人を支援対象とする (B助成) を新設しました。</p> <p>A助成: 複数の教員がグループで、複数の学年、学科にまたがる教育プログラムを担当し、座学と実験実習を融合させながらメカトロニクス技術教育の改革と高度化の経費を助成</p> <p>B助成: 1名の教員で、単一のメカトロニクス関連教育科目を担当する場合、その教員の担当科目の教育の改革と高度化の経費を助成</p>	<p>(3) 技術交流への助成 当分の間事業を中断</p> <p>メカトロニクス技術の研究分野に関する権威ある国際会議に出席しその研究成果を発表する者、または主催者側から招聘されて講演を行う者の渡航費として助成していたが、2013年度から当分の間事業を中断</p> <p>(4) 研究会への助成 (1件50万円を限度)</p> <p>2017年10月以降に日本国内で開催される(1)に記載したメカトロニクス技術の研究分野に関する国際的な研究会の開催費 (準備費を含む)</p> <p>2. 応募資格</p> <p>(1) 研究開発</p> <p>日本国内および海外の大学 (付置研究所を含む)、高等専門学校 (準ずるものを含む) その他当財団が認めた研究機関に所属して常勤する博士の学位を有する研究者</p> <p>(2) 技術教育</p> <p>A助成は科目の担当代表教員、B助成は担当教員 (両助成とも応募申請の承認者は校長)、A助成及びB助成とも一校でそれぞれ一件の申請</p> <p>(3) 研究会</p> <p>日本国内の大学、研究機関、学会またはこれらに公的に設置されたグループ。応募者は博士の学位を有する研究者</p> <p>3. 応募締切</p> <p>(1) 研究開発助成及び技術教育助成の締切: <u>2017年11月6日 (月)</u></p> <p>(2) 研究会助成の締切</p> <p>前期: <u>2017年6月30日 (金)</u></p> <p>後期: <u>2017年12月20日 (水)</u></p> <p>4. 書類送付・問合せ先</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-3 (日精ビル)</p> <p>公益財団法人 NSKメカトロニクス技術高度化財団 事務局</p> <p>電話: (03) 5496-5746、FAX: (03) 5496-5748</p> <p>e-mail: nsk-fam@nsk.com</p> <p>5. ホームページ</p> <p>http://www.nskfam.or.jp/ で詳細をご確認願います。</p>
---	---